



◆ 俳句 会 ◆

老鶯や胸突き八丁行者道 公文 春紀
 もう何もせんと言ひつつ草を引く 岡本かほる
 はだら日やひっそりと竹皮を脱ぐ 高橋 章
 葱坊主兄も弟も普通の子 北村 幸子
 夏の蝶サツカー場へもつれ込む 西川 常夫
 御在所岳の片ふくらみやほととぎす 甲藤 卓雄
 トネリコの花咲く並木送り梅雨 野崎 典子
 作り咳して近づき来五月闇 北村 里子
 梔子の香が茶の間まで庭の風 明石 英子
 父祖の代に存亡賭けし太蘭咲く 竹内 ろ草

◆ かがみの俳句会 ◆
 風蘭の雨意ふふみ咲く二三輪 佐竹 洋子
 青葉なか千の風吹く善通寺 鍵山 和枝
 緑陰のベンチに試歩の夫と座す 佐藤 幸
 順拝を終へし白衣へ若葉風 利根 弘子
 懸樋より滴る岩場庖丁研ぐ 古川 信子
 その隅にひかる碑麦の秋 小松 愛子
 新緑の日々をこもりて筆遊び 西内 保衛
 水際に夜がまだ残る白あじさる 中澤 美晴
 良心市枇杷の一葉も添えありて 森本 健代
 翳す手の間に抜ける夏の声 山崎 鈴子
 小流れを跨ぎて透ける蛇の衣 吉田 芳

◆ かほく俳句会 ◆

己が躬に恋して四葩水鏡 乾 真紀子
 重なりし紫陽花を打つ日照雨かな 奥宮さとみ
 青空に流るる時間袋掛 久保内鏡子
 紫陽花の咲き継ぐ池に鎌を研ぐ 久保 貴女
 円満に山家の暮らし七変化 黒岩 幸女
 紫陽花の駅に乗る人降りる人 黒岩 千英子
 紫陽花や手押し車の二人連れ 小松 隆之
 紫陽花の伸び放題に空家かな 小松 昇
 新緑や番所の屋根に水の文字 杉山 春萌
 紫陽花や紅佳し紺佳し水もよし 西本 昶猪
 紫陽花の途切れて町の境なり 前田 欣一
 雨傘の触るる井筋のてまり花 前田 秀女
 濃紫陽花水音に毬磨きをり 間崎 和代
 あぢさるや朝日隠れの青清し 山崎かずみ
 紫陽花や道を狭めて寺の磴 山中 晶子
 紫陽花や空も棚田も色を変へ 山中 瑞輝
 居ながらに届く各地の初鰹 山中 明石

◆ 土佐山田町俳句会 ◆

追剥峠の下は早の根須の里 明石 菲生
 父の日や意外に知らぬ父の事 大石 邦男
 受話器置き彼も老いしと桃かじる 中沢としみ
 胃カメラの喉元過ぎる五月闇 前田 小夜
 野仏はまだ夢の中姫女苑 前田美智子
 南風吹く追剥峠まで三里 安丸 慎子
 明け易き夢をたたみし枕皺 橋本 昭和
 老鶯の一鳴き塩の道翳る 樫谷 雅道
 メタボリックな父です父の日の孤食 田村 一翠

◆ 投稿作品 ◆ 広報委員会 選

千の風かよふ道あり夏座敷 山崎 貴子
 心病む人と五月の風を利く 小原 景守
 風薫る田畑まかせの明日の計 岡本 朴舟
 老人の一人暮しや鉄線花 北村千鶴子
 暑中見舞百寿の叔母が元気づれ 高野 和一
 風が来てまた梔子の香がとどく 和田 可代
 祖谷溪の樹間に現るる隠れ滝 千頭 野草
 懐かしく麦秋語る老女かな 北岡 登志
 稲苗のさゆれ始めて分蘗す 小原 子川
 幸福もこの一時に初夏の雨 小野寺朱実
 吾腰痛梟は子を捕られ鳴く 西尾 玉喜
 椎の花黄金の盛尾根の背に 萩野多美子
 張りつめた麦を落として豊かなり 山崎 寿美

俳句・短歌の投稿方法

- ▼ 投稿方法は自由。(ただし、官製ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで五句(首)以内)
- ▼ かい書で、住所、氏名、電話番号を必ず明記してください。
- ▼ 誌面の都合により掲載されない場合があります。

【投稿先】

企画課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
 〒782-8501 香美市土佐山田町宝町1-2-1
 ☎ 53-3114 FAX 53-5958

香美市立美術館

アートの窓



『第37回世界児童画展・高知展』& 『香美市内小学校児童画展』

開催中～8月12日(日)まで

一九七〇年に大阪で開かれた万国博覧会を機にスタートした世界児童画展は、今年で三十七回目を迎えます。当館での開催は十三回目を迎えます。

この展覧会は、子どもたちの感性と理性の調和のとれた成長を願い、子どもたちが自らつくりだす造形文化の支援と、国境を越えて世界の人々をつなぐ国際相互理解を目的として開催されてきました。

毎年、多くの子どもたちが生み出した自由でいきいきとした作品に感動させられますが、今年も作品にこめられたさまざまな思いが会場にあふれています。

写真の作品は、高知県内の出品者の中からぺんてる賞に輝いた田中遼太郎くん

(当時小学一年生)の「きょうりゅう」です。手染めの和紙や揉み紙を使った貼り絵になっています。爆発する火山や赤い恐竜が大きく表されています。作者の恐竜に対する思い入れの強さが迫力となって伝わってくるようです。

会場には国内応募作品一万四千三百六十六点の中から選ばれた地元高知の入選・入賞作品(四百六十七点)を中心に、国内の優秀作品(九点)と、海外応募作品四千九百四十二点の中から選ばれた二十五カ国(九十一)の海外作品が並んでいます。子どもたちの発達段階に応じたのびやかな作品や、海外の自然や生活環境の違いが反映された作品など、興味深く見ていただけます。

また、美術館ロビーでは、香美市内の小学校の児童画を同時展示していただきますのであわせてお楽しみください。ご家族おそろいでお越しください。お待ちしております。(館長・北 泰子)



「きょうりゅう」田中遼太郎(南国市立岡豊小・当時1年生)

吉井勇記念館

星祭〜旧七夕まつり〜

吉井勇が初めて猪野々を訪れたのは、旧暦の七夕の日。色とりどりの短冊が風に揺れ、その風情はすてがたいものだったといわれています。

吉井勇記念館では、旧暦七夕(今年8月19日)を中心に、当時、勇が見た昔ながらの懐かしい七夕飾りを猪野々活性化委員会、猪野々老人クラブの協力によって再現します。

また、香美市内の小学一年生が書いた短冊も一緒に飾ります。

期間中は、当館で用意した短冊に、願い事や短歌・俳句を書いて飾ってください。昔を思い出しながら、ご家族で楽しんでいただけたらと思います。



記念館前に再現された七夕飾り

【開催期間】

8月17日(金)～20日(月)

【問い合わせ先】

吉井勇記念館

☎ 58-2220

第2回 香美市芸術祭 作品募集

平成19年度芸術祭の作品を募集します。要項は次のとおりです。

《俳句会》

日時 = 10月7日(日) 13時30分
 場所 = 市立中央公民館 3階視聴覚室
 作品 = 1人5句以内 (未発表作品に限る)
 出品料 = 文化協会会員500円
 会員以外1,000円
 ※投稿時に納めてください。
 募集締切 = 9月14日(金)

《短歌会》

日時 = 10月7日(日) 13時30分
 場所 = 市立中央公民館 3階会議室
 作品 = 1人2首以内 (未発表作品に限る)
 出品料 = 文化協会会員500円
 会員以外1,000円
 ※投稿時に納めてください。
 募集締切 = 9月14日(金)

《写真審査会》

日時 = 10月11日(木)
 作品搬入・受付 = 9時~18時
 審査 = 19時から
 場所 = 市立中央公民館 3階会議室
 出品料 = 文化協会会員500円
 会員以外1,000円
 テーマ = 自由 (未発表作品に限る)
 サイズ = 4つ切りから全倍まで
 枠張り(裏面に住所・氏名・題名を記入)

《文化展》

期間 = 11月3日(土)~4日(日)
 会場 = 市立中央公民館
 募集作品 = 絵画 (50号以下)
 書道 (表装または仮表装)
 手工芸など
 ※写真は写真審査会へ出品してください
 申込方法 = 所定の用紙に必要事項を記入
 出品料 = 文化協会会員 1点500円
 会員以外 1点1,000円
 ※申込時に納めてください。
 申込締切 = 9月14日(金)
 作品搬入 = 11月2日(金) 9時~17時



【俳句会・短歌会・文化展作品申込先】

・香美市芸術祭実行委員会事務局
 (教育委員会生涯学習課内) ☎ 53-1082
 香美市土佐山田町岩積365-1

・教育委員会香北分室 ☎ 59-2312
 ・教育委員会物部分室 ☎ 58-3118

※9月12日(水)~14日(金)は市立中央公民館でも受付します

《発表会》

芸能大会		社交ダンス発表会
【物部会場】 日時 = 10月21日(日) 12時開演 場所 = 奥物部ふれあいプラザ	【香北会場】 日時 = 10月28日(日) 12時開演 場所 = 保健福祉センター香北大ホール	日時 = 11月11日(日) 18時開演 場所 = 市立中央公民館大ホール